



# みらいっうしん

4月号

令和2年4月1日  
田園調布学園大学  
みらいこども園  
園長 勝浦 芳子

\*:。☆。,:\*:。★。,:\*:。°★。°\*:。\*:。□。,:。:。□



## ご入園・ご進級おめでとうございます

さわやかな風が心地よい季節となりました。園庭の花々も園児達を笑顔で迎えています。

本年度は、59名の新入園児を迎え、総数214名の園児達がみらいこども園で、乳幼児期の生活を送ります。引き続き、本園の理念「みらいこども園は、子どもも大人も尊重され生きる喜びが持てることです」を基本とし、園児一人一人が、遊びを通して好きなことを見つけ、主体性をもって園生活を送り、友達を思いやり尊重したりしながら個々の資質や能力を育ていけるよう、職員一丸となって環境を整え参ります。未来を担う子ども達ですので、保護者の皆様と共に大切に育てていきましょう。

さて、昨今、世界中で新型コロナウイルス感染症が拡大化したため、たくさんの困難に直面し、日本でも、毎日のように人々を脅かすニュースが報道されております。その中でも、みらいこども園は、細心な注意を図りながら、保護者の方々のご理解やご協力を得て、最善な方法でお子様をお預かりしております。職員一同は、改めて、大切なお子様の命をお預かりするという強い責任感と重要性を痛感し、一日も早い新型コロナウイルスの感染が終息し、安心した生活が送れることを願いつつ、今年度も衛生面に十分配慮しながら教育・保育を行って参ります。しかしながら、コロナウイルスは、感染力が強く命まで落とす場合もある恐ろしいものです。皆様も危機感をもってお体には、十分お気をつけになってください。また、川崎市の感染状況によっては、何らかのご協力をお願いいたしますのでよろしく願いいたします。

4月は、どの企業や学校でも新しい風を受けて、第一歩を踏み出します。新しい環境にはワクワクドキドキしながらのスタートですので、緊張で心が折れてしまうこともあります。特に、幼い子ども達にとっては、大好きな保護者の方から離れての生活になりますから、大きい試練かもしれませんが、みらいこども園は、お子様の育ちや個性を常に大切に、心に寄り添う保育や教育を実践しておりますので、安心してお預けしてください。そして、保護者の方々には、お迎えにいらっしゃったときには、「がんばったね」と笑顔で、お子様を受けとめてあげてください。このことが、親子の絆をより深め、やがて、園生活に安心感につながるきっかけになりますので、是非とも行ってください。今後も、お子様や保護者の方々の心の支えになれるよう、職員一同ワンチームの精神で努力して参ります。今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。

風に舞う桜の花びらを追いかけてながら、子ども達の笑い声が園庭に響いています。新しい場所で不安な表情の子ども達も一瞬我を忘れるようです。子ども同士の関わりの中で楽しさが伝わりあっていくとき、保育者として笑みがこぼれます。子ども達の声を誠実に聞きとりながら、笑顔に出会えるように関わっていききたいと思います。 中城真由美

ひとつ大きくなった子どもたちはどこか誇らしげで、でもまだまだ甘えたくて…側にいると気持ちの揺れ動きを感じます。

「ひとりでもできるもん！」(でもやっぱり一緒にいて)「みてみて、すごいでしょ！」(できないよ～)心の声を聞きながら、ゆっくりのんびり寄り添っていきたいです。 柳鶴聡美



園庭に出るとチュウリップが風に揺れるのを見て「あっ！」と指差し知らせてくれる姿に温かい気持ちになります。子ども達の目に映る小さな気づきを大切に一日一日を共に過ごしていききたいと思います。 三ツ橋知子